

河川堤防の耐震性能照査の地震動

対象地点において現在から将来にわたって考えられる最大級の強さを持つ地震動(レベル2地震動)
プレート境界型の大規模な地震を想定(レベル2-1)
内陸直下型地震を想定(レベル2-2)

河川堤防の耐震性能照査対象区間

「堤内地盤高 \leq 耐震性能照査上の外水位」の区間

河川堤防の耐震性能照査

「地震後(液状化による沈下後)の天端高さ \geq 耐震性能照査上の外水位※」

※耐震性能照査上の外水位

①と②の高い方

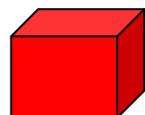
①河川の平常時の最高水位(原則として14日間に発生する確率が1/10の水位)

②津波の遡上による水位(中央防災会議、各県から公表されている東海、東南海、南海の単発および連動地震時の津波のうち、河口部の津波高が最高となるものを採用し、遡上計算を実施。)

直轄河川堤防 L2耐震性能照査実施状況

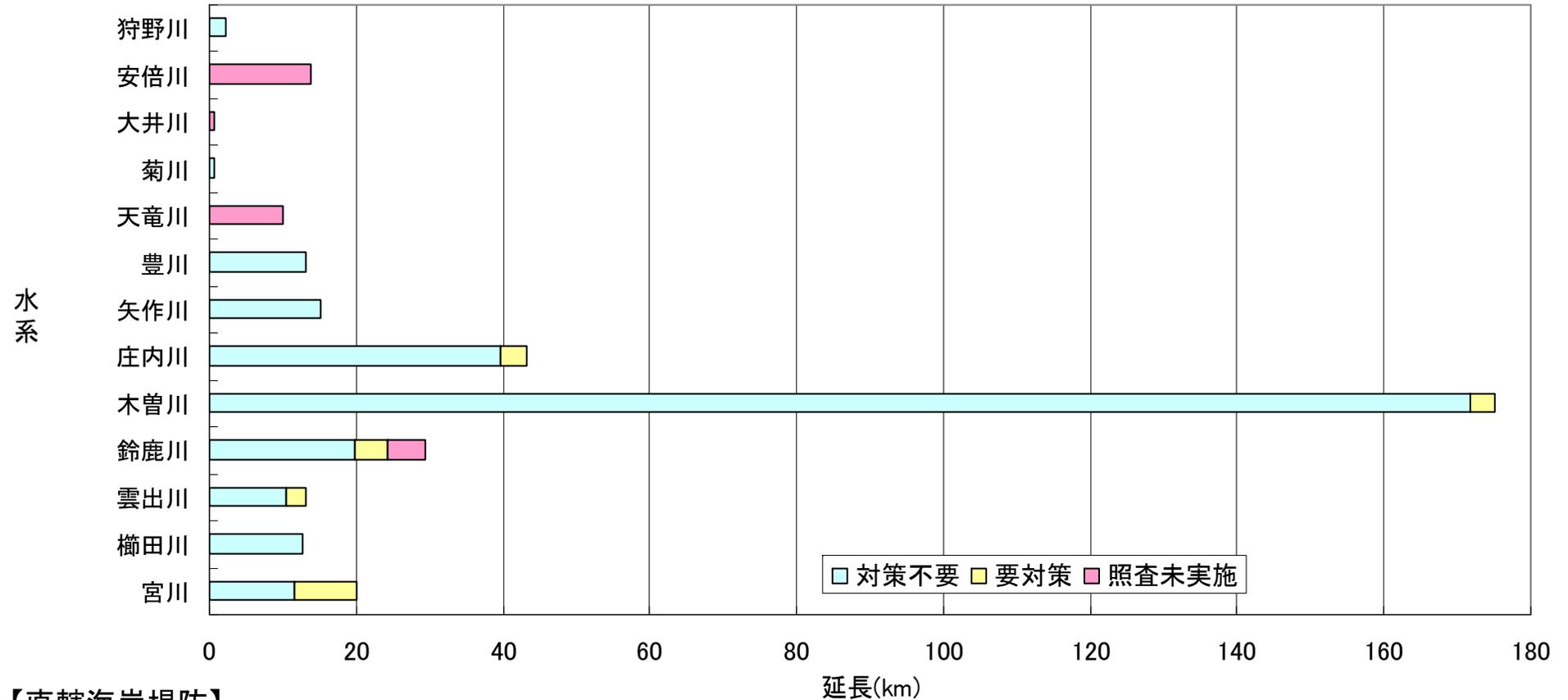
耐震照査対象延長約350km

そのうち、約320kmの照査を完了。

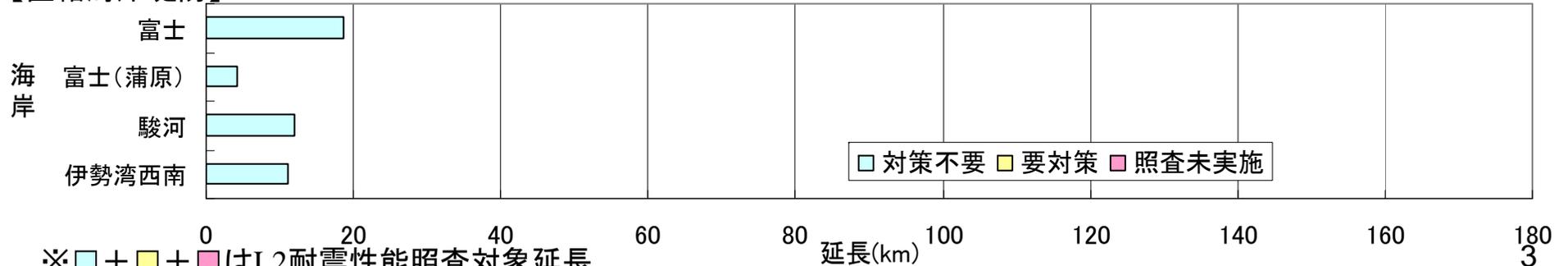


そのうち、要対策区間は約25km

【直轄河川堤防】



【直轄海岸堤防】



※ □ + □ + □ はL2耐震性能照査対象延長